

府中市制施行
65周年記念

棟方

志功展

2019
5/25 sat
7/7 sun

連作と 大作で迫る 板画の真髓

休館日：月曜日

開館時間：午前10時～午後5時

(展示室入場は午後4時30分まで)

観覧料：一般700円(560円)

高大生350円(280円)

小中生150円(120円)

※(C)内は20名以上の団体料金。

※未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。

※府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料。

※「棟方志功展 観覧料金で常設展もご覧いただけます」。

主催：府中市美術館
協力：一般財団法人棟方志功記念館

府中市美術館

Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1-3 <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

ハローダイヤル 03(5777)8600

図版：棟方志功《華狩頌》1954年 一般財団法人棟方志功記念館蔵





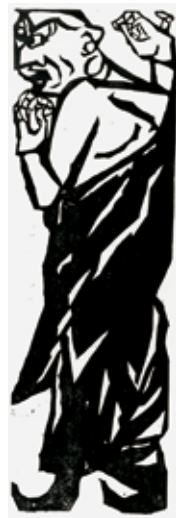
棟方志功展

1903(明治36)年、青森に生まれた棟方志功は、油彩画家を目指して21歳で上京します。しかしその後自らにより適した表現として木版画に力を注いでいきました。1939(昭和14)年には『菩薩釈迦十大弟子』を制作。鋭利で力強い彫りの跡や、紙面の白と版面の黒の対比が印象的なこの作品は、現在でも棟方の代表作として高く評価されています。さらに戦後には国内外の展覧会に出品を重ね、1955年の第3回サンパウロ・ビエンナーレ、翌年の第28回ヴェネツィア・ビエンナーレで受賞するなど、日本を代表する版画家として不動の地位を得るにいたりました。

棟方志功は自らの木版画を「板画」、すなわち板の中から生まれた絵画と称しました。この展覧会では、棟方板画の全貌と真髄を、青森市にある棟方志功記念館の所蔵作品によつてたどります。岡本かの子の詩に寄せて女性への礼賛を謳いあげた連作『女人観世音板画卷』。青森県庁舎の玄関ホールに掲げるべく制作された『花矢の柵』。全幅13mの大画面にわたって躍動感あふれる人物像が輪舞する『大世界の柵 坤人類から神々へ』。独自の版表現を模索し続けた棟方志功の軌跡を、連作と大作に着目しながら紹介します。



Retrospective of MUNAKATA Shiko: Woodcut prints



1 棟方志功《花矢の柵》1961年 / 2《版画集 星座の花嫁》より《貴女行路》1930年・1931年刊行
3,4 《二菩薩釈迦十大弟子》より《富樓那の柵》《普賢菩薩の柵》1939年 / 5,6 《女人観世音板画卷》より《優色の柵》《牡丹の柵》1949年・1969年刊
7 《飛神の柵》《御志羅の柵》1968年 全て一般財団法人棟方志功記念館蔵

関連イベント

■ 20分スライドレクチャー

5月26日(日)、6月2日(日)、6月8日(土)、6月16日(日)、
6月30日(日)、7月6日(土)
午後2時～(約20分) 当館1階 講座室(無料)

■ 展覧会講座

「棟方志功 板画の軌跡」鎌田 享(当館学芸員)
6月22日(土) 午後2時～(約60分) 当館1階 講座室(無料)

同時開催

常設展「府中・多摩の美術／版の世界／牛島憲之とその時代」
公開制作 原田郁「もうひとつの世界 10年目の地図」



- (交通案内)
- 京王線東府中駅北口から
 - ・徒歩17分
 - ・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」下車すぐ(8:05から30分間隔で運行、運賃100円)
 - 京王線府中駅から
 - ・ちゅうバス多摩駅行き「府中市美術館」下車すぐ(8:00から30分間隔で運行、運賃100円)
 - ・京王バス武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)で「天神町二丁目」下車すぐ
 - JR中央線武蔵小金井駅南口から
 - ・京王バス府中駅行き(一本木経由)で「一本木」下車すぐ
 - お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)をご利用ください。

次回の展覧会 「ぱれたん ゆめのせかい」
7月20日(土)～9月1日(日)

府中市美術館
Fuchu Art Museum
東京都府中市浅間町1-3 <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>
ハローダイヤル 03(5777)8800